

平成 30 年日本熱物性学会第 1 回 (2018-1) 役員会議事録
平成 29 年第 4 回(2017-4)役員会との合同会議

日時：平成 30 年 1 月 27 日(土) 役員会 13：58～15：53

場所：東京工業大学田町キャンパス キャンパスイノベーションセンター5F 501 室

出席者：(五十音順・敬称略)

上利泰幸 (大阪産業技術研究所)	上野藍(名古屋大院)
遠藤理恵(東工大)	大石佑治(大阪大)
大村高弘 (和歌山高専)	大久保英敏 (玉川大学)
小澤俊平(千葉工大)	小原拓 (東北大学)
熊野寛之 (大山学院大)	庄司衛太 (東北大院)
杉岡健一(富山県立大学)	高野孝義(豊田工業大学)
竹歳尚之 (産総研)	長坂雄次 (慶應義塾大学)
長野方星 (名大院)	西山貴史(福岡大)
春木直人(岡山県立大)	東 之弘 (九大カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所)
日野裕久(パナソニック)	牧野俊郎 (近畿職業能力開発大学校)
宮崎康次 (九州工業大学)	桃木悟 (長崎大学)
森川淳子 (東京工大)	森田慎一(米子高専)
山下雄一郎(産総研)	山田盛二(サンタバーキングラボラトリー)
山田修史 (産総研)	山田雅彦 (北海道大)
渡邊純一(パナソニック)	

審議事項：

大村副会長より、山田純前会長が病欠の旨が述べられた後、上利泰幸新会長より挨拶があった。
また、配布資料の確認が行われた。

議 題：

(1) 新旧役員紹介(役員一覧)と前回議事録確認……………資料番号:18-1-1(1)~(3)

資料 18-1-1(1)および(2)に基づき新旧役員の紹介があった。誤植等は事務局に連絡することとなった。
続いて森川担当事務局副会長より、資料 18-1-1(3)に基づき、前回議事録の確認があり、了承された。

(2) 学生ベストプレゼンテーション賞選考結果報告……………資料番号:18-1-2

桃木企画担当理事より、第 38 回シンポジウムにおける第 15 回学生ベストプレゼンテーション賞についての選考結果の報告があった。審査の結果、39 名から 9 名が選ばれた旨が報告された。募集時に、重複授賞を認めない旨を明記しなかったため、2 名が重複授賞であった。審査員による採点のバラツキを小さくするよう評価を行った。なお、採点方法については外部には公表しないことが説明された

(3) 第 38 回日本熱物性シンポジウム報告……………資料番号:18-1-3

竹歳第 38 回シンポジウム担当より、シンポジウムの報告がなされた。発表 129 件、参加者 268 名（招待者含まず）、協力企業 11 社であり、各会場とも盛況であった旨が報告された。また、シンポジウム運営に関する協力に対してお礼が述べられた。なお、開催報告案に記載の、基調講演タイトル、セッション名、図の表題等について、再確認すること、シンポジウムの収支決算報告（暫定版）は、現在、監査を受けている事が説明された。

(4) 覚書の確認……………資料番号:18-1-4

森川事務局担当副会長より、学会運営に関する覚書について説明があった。なお、修正すべき点がいくつかあるため、次回役員会において改訂版が提示されることが報告された

(5) 平成 29 年活動・決算報告……………資料番号:18-1-5(1)~(2)

森川事務局担当副会長より、資料 18-1-5 (1)に基づき、学会の第 38 期(平成 29 年)の活動報告に関する報告があり、修正の上、了承された。主な修正内容は以下の通り。

- ・ 4. 第 38 回日本熱物性シンポジウムについて、後援に「産業技術総合研究所」を追加、一般講演の、OS、GS を実際の内容に修正。
- ・ 6. 各種委員会活動に、編集委員会、熱物性値サービス委員会、活動委員会、広報委員会、表彰委員会を追加することとなった。また、委員会名をタイトルとして、各内容を記述する
- ・ 熱物性サービス委員会の活動内容を、「日本熱物性値データベースの公開および、日本熱物性シンポジウム講演論文集の Web 公開」とする
- ・ 活動委員会は、BPA 審査も兼ねていることから、委員名を記載しない事とする。
- ・ 春木直人先生の所属を修正する
- ・ 稲葉英男先生の略歴かあら、就実大学・就実短期大学理事・学長の期間を確認の上修正する

続いて資料 18-1-5 (2)に基づき、収支決算の説明がなされた。シンポジウムの黒字等により、収入が増となった。また、去年は役員交通費が少なかったことや、会計業務の方法を変えたことによる会計業務庶務費が減ったことにより、支出が減となった旨が説明された。

その後、山田盛二監事、熊野寛之監事より、予算が適切に使用されている旨の監査報告があった。

(6) 平成 30 年事業計画……………資料番号:18-1-6

森川事務局担当副会長より、資料 18-1-6 に基づき、学会の第 39 期（平成 30 年）事業計画案の説明があった。役員会日程および活動計画などについての説明があり、了承された。研究分科会については、第 39 期は継続で 4 研究会が活動していくことが説明された。なお、先進材料の熱物性と宇宙システムデザイン研究分科会は、3 月末で一旦終了し、主査を長野先生として名称変更した上で引き継ぐ予定である。また、各種委員会の担当について確認された。40 周年記念事業担当を追加することとなった。

(7) 平成 30 年予算案……………資料番号:18-1-7

森川事務局担当副会長より、資料 18-1-7 に基づき、第 39 期（平成 30 年）の収支予算に関する報告があった。支出科目に、創立 40 周年記念企画実行委員会活動費として 10 万円を計上することとなった。

(8) 第 39 回・第 40 回日本熱物性シンポジウム準備状況……………資料番号:18-1-8(1)~(2)

長野シンポジウム担当より、資料 18-1-8(1)に基づいて、第 39 回シンポジウムの準備状況、体制、および今度のスケジュールについての報告があった。11/13(火)~15(木)に、ウイנקあいちで行う。シンポジウムの期間中に研究分科会等の開催を予定している旨の希望があった場合は、その会場も確保する予定である。会期中に研究分科会等の開催を予定している旨の希望があった場合は、その会場も確保する予定である。また、総会、懇親会は、キャッスルプラザで行う予定である。

シンポジウムのホームページ作成は外部業者へ発注し、独自ドメインを取得する方向で進めている事が説明された。また、特別講演の企画案と、第 1 回会告案が示された。

続いて、桃木企画担当理事より、資料 18-1-8(2)に基づき、第 40 回シンポジウムの準備状況が報告された。2019 年 10 月 28 日(月)~30 日(水)に、長崎ブリックホールで開催することを計画している。なお、ATPC の会期(10/2~)とは被らない事を確認済みである。

(9) 各種委員会報告……………資料番号:17-1-10-1~5**編集委員会**

堀部編集担当より、資料 18-1-9-1 に基づいて、平成 29 年度活動報告と平成 30 年度活動計画についての報告があった。平成 29 年度は、1 号~4 号の計 4 回の発行があった。4 号に関しては、例年記事が少なくなる傾向があることから、今後改善について検討する。30 年度の活動は、繰越金で行う予定である。

30 年度の編集委員会は、シンポジウム開催時に行う事を予定し、必要に応じてメール会議することが説明された。また、Vol. 2 号の目次案が示された。

熱物性値サービス委員会

山田熱物性情報担当理事より、資料 18-1-9-2 に基づいて平成 29 年度活動報告と平成 30 年度活動計画があった。熱物性データベースへの月平均アクセス数は、4863 件で、若干の減であった。また、日本熱物性シンポジウム講演論文集の総ダウンロード数は 1177 件であり、倍増であった。引き続き熱物性データベース関連のサービス強化を進める。産総研の熱物性データベースを使用するために、学会から産総研へ 10 万円支払っている。

活動委員会

桃木企画担当より、資料 18-1-9-3 に基づいて平成 29 年度活動報告と、平成 30 年度活動計画があった。ベストプレゼンテーション賞の関連業務の報告がなされた。

広報委員会

宮崎広報担当理事より、資料 18-1-9-4 に基づいて、平成 29 年度活動報告と平成 30 年度活動計画があった。

表彰委員会

長坂表彰委員会委員長より、資料 18-1-9-5 に基づいて、表彰委員会の活動について報告があった。続いて、2018 年学会賞候補の募集記事案が出された。

(10) 研究分科会について……………資料番号:18-1-11-1~4**高温融体物性と材料プロセス**

代理として小澤評議員より、資料 18-1-11-1 に基づいて、活動報告と今後の予定に関する説明があっ

た.

先進材料の熱物性と宇宙システムデザイン

代理として長野理事より、資料 18-1-11-2 に基づいて、活動報告と今後の予定に関する説明があった。この活動は 2017 年度末で一旦終了し、2018 年度以降は、長野先生を主査とした新たな研究会に活動を引き継ぐ予定である。今後、新しい研究会に関して、計画書を提出予定である

ふく射性質とその放射制御に関する研究会

代理として宮崎広報担当理事より、資料 18-1-11-3 に基づいて、活動報告と今後の予定に関する説明があった。

断熱材分科会

代理として大村副会長より、資料 18-1-11-4 に基づいて、活動報告と今後の予定に関する説明があった。

(11)事務局報告……………資料番号:18-1-11-1~3

森川事務局担当副会長より、資料 18-1-11-1~2 に基づいて、共催、協賛関係、会員異動について報告がなされた。

また小原理事より、資料 18-1-11-3 に基づいて、日本熱科学研究支援機構預かり金について報告があった。

(12)その他

・森川事務局担当副会長より、資料 別添 18-1-2-理に基づいて、2018-2020 JACM 運営委員選出について説明がなされた。引き続き慶應義塾大学の泰岡顕治先生にお願いすることとなった。

・森川事務局担当副会長より、資料 別添 18-1-4-理に基づいて、BPA の副賞として受賞者に授与しているさーもふいじすとの残数が 11 冊となったため、今後の副賞について検討依頼があった。委員が今後検討する事となった。

・年間スケジュールの確認が行われた。

第 1 回理事会・役員会 1/27 (土)

第 2 回理事会・役員会 4/21

第 3 回理事会 7/21

第 4 回理事会・第 3 回役員会 9 月 未定

総会：シンポジウム期間中 11/14

次期顔合わせ 11/15

第 4 回理事会・第 3 回役員会 1/26

以上